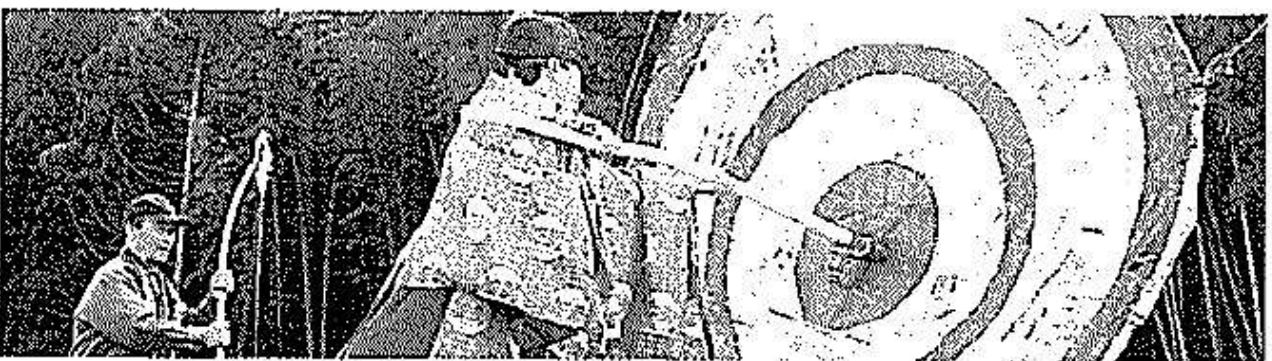


幸福願い「鬼神退治」

2/25
1/4日

佐賀市三瀬村中鶴地区で厄神祭



佐賀市三瀬村の中鶴地区で二十一日、一年間の無病息災と家内安全を祈願する「厄神祭」があった。毎年旧暦の一月十五日に神職を招いて開催する珍しい祭りで、地域住民約四十人が見守る中、災厄をもたらす鬼神退治が厳かに行われた。

同地区には、厄神を祭る小さなほこらがあり、地域住民の話によると、昔から日本三厄神の一つとして敬われている。祭りは男性のみで開催。ほこらの前で神事を行った後、メインイベントの的引きが始まった。

新聞紙などで作り上げた直径約三尺の大きな的の中央には、鬼の面を設置。神職がやりで鬼の面を突き落とす＝写真＝

と、約三十センチ離れた場所から男たちが的を目がけて次々と矢を放った。最初に的を射止めた同地区の田中嘉行さん(七四)は「住民の幸せと村の自然がいつまでも残ることを願った」。遠くで見守っていた女性たちも歓声を上げた。祭りが終わると、女性たちが作った伝統的な料理で直会を実施。トウガラシがたっぷり入ったゴボウのみそあえなどが振る舞われ、住民みんなで一年間の幸福を願った。